本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費	事業名 日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業費 担当課・局・3 総合5か年計画 プロジェクト 正十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	高校教育課
20	総合5か プロジェクト 第 E-mail 年計画 が第の総合的展閲 7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実	1 10 10 111111
### 2012-05	総合5か プロジェクト 課 E-mail 報告の終会的展開 7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実	koko@pref.nagano.lg.jp
# 子であったくのからできない。	年計画	
1 事業の概要 1 事業の制度 1 事業の概要 1 事業の制度 1 事業の概要 1 事業の概要 1 事業の制度 1 事業の需要 1 128 実施内容 1 事業の需要 1 128 実施の需要		
1 事業の概要	5 すべての子どもの学びを保障する支援 実施期間	H17 ~
1 事業の概要	人口定着・ 信州創生の基本方針	
事業の概要		
日指す姿 生活 大陸和談目を中心とした高校生活 大陸体制 つくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国商生徒及び帰国生徒が、日本部・開発したののでは 1 大田弥正作の 1 大田弥正作の 1 大田弥正作の 1 大田弥正作の 2 大田が出た 1 大田弥正作の 2 大田が出た 2 大田弥正作の 2 大田が出た 2 大田		
全語文接相談員を中心とした高校生活支接体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が、日本語、特に読み書きや日本機の回題で置性の壁をスムーズに乗助起え、併せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として同じた人間既を存職して社会的、経済的目立ができるためを身につちからを大きでは、100人と担え、平成27年度には308人となっている。	H TAVEH	
日報す姿 本語 (特に読み書き)で日本総特の風景 習慣の壁をスムーズに表が整え、作せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に入間関係を情報して社会的、経済的日立ができるちからを身につける。	1 事業の概要	
日報す姿 本語 (特に読み書き)で日本総特の風景 習慣の壁をスムーズに表が整え、作せて、高校卒業後において、日本の市民社会の一員として円滑に入間関係を情報して社会的、経済的日立ができるちからを身につける。	生活支援相談員を中心とした高校生活支援体制づくりにより、各高校に在籍する日本語が不自由	な外国籍生徒及び帰国生徒が、日
場立	目指す姿 本語(特に読み書き)や日本独特の風習・習慣の壁をスムーズに乗り越え、併せて、高校卒業後に	
(予養職) 外国除生体の増加に伴い、日本語の規解や規用、検索や日常生活に支障かある要支援生後数も相対的に増入さいる。同時に、当該生作の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。同時に、当までは関連 東でなければ実施不可(その他) 東尼との協能による実施・実施は国難 県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業 東京との協能による実施・実施は国難 県立高等学校に在籍する日本語が不自由な外国第生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着、生活相談などを支援する。	て円滑に人間関係を構築して社会的、経済的自立ができるちからを身につける。	
(予養職) 外国除生体の増加に伴い、日本語の規解や規用、検索や日常生活に支障かある要支援生後数も相対的に増入さいる。同時に、当該生作の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。同時に、当までは関連 東でなければ実施不可(その他) 東尼との協能による実施・実施は国難 県立高等学校に在籍する要支援生徒への修学支援として設置者が行う事業 東京との協能による実施・実施は国難 県立高等学校に在籍する日本語が不自由な外国第生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着、生活相談などを支援する。		
接生後の家族とのコミュニケーションにも支障を生じている場合もあり、生活支援相談員の活動の機会は増加している。 環が関与する理由	現状・県立高等学校に在籍する外国籍生徒の数は、平成22年度に300人を超え、平成27年度には308	人となっている。
果が関与 現でかければ実施不可(その他)		
東代かければ実施不可(その他) 東民との協働による実施:実施に困難	一時	851は増加している。
東代かければ実施不可(その他) 東民との協働による実施:実施に困難	【左記の説明、根拠法会等】	
RRLの協働による実施:実施は困難	県が関与 県でなければ実施不可(その他) _{国立} 真築学校に在鑵する要支採生徒への修学支採りて	設置者が行う事業
各校の現状と要望を把握しながら支援員の配置を行い、各校に在籍する日本語が不自由な外国籍生徒及び帰国生徒が安心して高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定著、生活相談などを支援する。 第二十四 10	する坪田	
高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着、生活相談などを支援する。 本業内容 「単位:千円」 「	① 成果目標(H28)	
高校生活を送ることができるように、コミュニケーション力の向上や基礎学力の定着、生活相談などを支援する。 本業内容 「単位:千円」 「	タ校の担果と無効な細胞とかがた古経鳥の配置を行い、タ校に左統オスロオ語が不自由を外	国籍生徒及び帰国生徒が安心して
日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 日本語が不自由な生徒のた相談等従事時間数 1.030時間 日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 日本語が不同な表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表		
項目 実施方法 H28実施内容 H27		
項目 実施方法 H28実施内容 (当初) (要求) (予算条) (当初) (事求) (事求) (事求) (事求) (事求) (事求) (事求) (事求	② 事業内容	(単位:千円)
大学 100	頂日 字集士社 U20字集内宏	H27 H28
Tan	項目 美胞方伝 F120美胞内谷	(当初) (要求) (予算案)
本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 直接		
日本語が不自由な生徒のための高校生活支援事業 直接 相談等従事時間数 1.030時間 3,075 3,075 3,075 0	成果目標・	
Bir	日本語が不自由な生徒のを 「印吹貝癿直仪 20仪	
合計 3,075 3,075 0 合計 3,075 3,075 0 日標 (見込) 日標 成果 達成状況 日標 (見込) 日標 成果 日本 (日見込) 日標 (見込) 日標 (記述) 日本 (見込) 日標 (記述) 日本 (記述) 日		3,075
Parity	作成等促争时间数 1.030時间	
Parity		
Ref		0.055
前年度繰越 100%	Control Con	3,075 3,075 0
当初予算 3,059 3,075 3,075 1項目 旧26末 (見込) 目標 成果 達成状況 目標	区 分(単位:千円) 26年度 27年度 28要求 28予算案 成果目標の	D達成状況
当初予算	前年度繰越 H27末	H28 H29
##止ア昇 合計(A) 3,059 3,075 3,075 0 万家生徒のアンケート満足度「助かっている。」の回答率 中級財源 3,059 3,075 3,075		目標 成果 達成状況 目標
# 日本	「	
Aの	業 日間(A) 3,009 3,019 3,019 足度「助かっ 100% 100%	100%
大 国庫支出金		
スト	707 // 12	
決算額(B) 2,996 概算 職員数(人) 0.50 0.50 人件費 概算人件費(C) 4,129 4,129 0 概算事業費(B(A)+C) 7,125 7,204 7,204 0 指摘事項等への対応 (指摘事項等) 口監査 口決算特別委員会 (対応) 口県民協働による事業改善 (対応)	ス	
概算 職員数(人) 0.50 0.50 0.50	The Market Co.	
人件費 概算人件費(C) 4,129 4,129 0 概算事業費(B(A)+C) 7,125 7,204 7,204 0 指摘事項等への対応 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善 (対応)		
概算事業費(B(A)+C) 7,125 7,204 7,204 0 (対応) 指摘事項等への対応 □監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善		
□監査 □決算特別委員会 □県民協働による事業改善	指摘事項等への対応 (指摘事項等) (対応)	
□県民協働による事業改善	Total Tota	
要求からの主な変更点	□監査 □決算特別委員会	
要求からの主な変更点	□監査 □決算特別委員会	
	□監査 □決算特別委員会	
	口監査 口決算特別委員会 口県民協働による事業改善	